

令和2年度版 改善計画

学校名：甲府城西高等学校

No.	項目	現状と課題	R3年度に目指すべき状態	①R2年度に実施する内容 ②R3年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	会議前に関係各係、年次で十分な打ち合わせがされず、会議が長時間になる。会議資料がすべて紙媒体のため、印刷製本などに負担が大きい。	会議前の連絡調整が十分に行われ、会議時間が短縮されている。併せて、可能な部分はペーパーレスで実施されている。	① 会議前の関係各係、年次の連絡調整。簡潔な説明を徹底し、会議時間を1時間以内にする。原案づくりのための協議資料PDFでタブレットに入れて持ち寄り、紙媒体は決定された実施要項のみとする。 ② すべての会議時間を8割に短縮。会議資料のペーパーレス化	
2	学校行事の負担軽減	臨時休校により、多くの行事が予定どおりには実施できない。	時短・3密回避で効果的に行うよう、行事の見直しがされている。	① 各行事の必要性を検討し、教育的に必要性の高いものは、従来のやり方にとらわれず、創意工夫して実施する。 ② 行事の重点化を図り、スクラップ&ビルドの推進	
3	校内組織の見直し	分掌を9つから7つに統合・削減したので、円滑な業務遂行に留意する必要がある。	適正な校内組織で、業務が円滑に進められている。	① 業務内容を把握し、適切なワークシェアを行い、今年度から削減した分掌数での業務を滞りなく実施する。 ② 統合した分掌業務の検証。小委員会の構成員の精選	
4	業務の効率化	職員室の3密回避のため、業務を効率的に行う努力がされているが、時間外勤務を意識する習慣がついていない。	事務処理等を効率的に行い、生徒と十分に関わる時間や教材研究・自己研鑽の時間を確保している。	① 業務の優先順位を明確にし、効率的に業務を行い、月2回の「きずなの日」には定時退校100%実施する。 ② Teamsを教員間の打ち合わせや連絡に活用	
5	部活動の負担軽減	休養日が少ない部活動がある。教員数に比べて部活動数が多く、適正な運営が難しい部分がある。	「甲府城西高校部活動に係る活動方針」に沿った実践がなされている。	① 短時間でも効率的に部活動を行う。正副顧問が協力して土日の活動をシェアすると共に、適切な休養日を設ける。退勤管理で過重負担を未然に防ぐ。 ② 振替も行う中で、週2回の休養日の実施	
6	地域人材の活用	授業では活用されているが、部活動指導では不十分である。	部活動指導で積極的に活用されている。	① 謝金を確保し、外部指導者を活用する。 ② 専門的な活動指導者の増加	
7	基礎学力テストの活用	基礎学力テストの検証を十分に行い、授業や課外計画に反映させる必要がある。	基礎学力テストの検証を十分に行い、学び・やりがい・アクティブプロジェクトを実践している。	① 基礎学力テストの結果を組織的に検証し、学力向上のために各教科の指導に生かす。 ② 学び・やりがい・アクティブプロジェクトの進路実現への寄与	
8	新型コロナウイルス感染症予防	県教委や専門家の指導に従って、学校環境を整えているが、完璧ではない。	感染症予防のために考えられることをすべて実施している。	① 3密を徹底的に回避し、校内から感染者を出さない。 ② 新たな生活様式の定着	